

コミュニティ・スクールの取組状況について

モデル校の実施状況について

日高市役所 訪問

- 【日程】 令和4年4月11日（月）
 【内容】 日高市の取組について研修

モデル校校長への説明

- 【日程】 令和4年4月18日（月）
 【内容】 今年度の流れの説明、質疑応答

ふじみ野市立大井小 訪問

- 【日程】 令和4年5月9日（月）
 【内容】 ふじみ野市の取組について研修

第1回 プレ学校運営協議会（第2回 学校評議員会）・・・参考資料あり

- 【日程】 金子中学校区：令和4年10月7日（金）10:00～
 東金子中学校区：令和4年10月25日（火）10:00～
 【内容】 熟議のやりかたについて説明・支援

第2回 プレ学校運営協議会（第3回 学校評議員会）・・・参考資料あり

- 【日程】 金子中学校区：令和5年1月24日（火）10:00～
 東金子中学校区：令和5年2月17日（金）10:00～
 【内容】 評価のやりかたについて説明・支援

1. 成果

- ① 地域の方の生の声を聴けるだけでも有意義であった。
- ② 地域・家庭・学校の距離感を縮めることができた。
- ③ はじめは、協議委員の表情も硬かったが、時間とともにほぐれ、笑顔がたくさん見られるようになり温かい雰囲気になった。
- ④ 予想していたよりも、委員の方がたくさん話をしてくれ、参考になる意見がたくさん聞けた。
- ⑤ 学校評議員制度とは違い、未来志向な話し合いをすることができ、温かい雰囲気になった。
- ⑥ テーマを絞って学校や地域の実情について話し合ったことで、学校と地域の改善策が生まれはじめた。

2. 今後の方向性や課題

- ① 今年度は、2学期から試行を開始したので、1年を通しての協議会の運営をスムーズに行えるよう学校をサポートする。
- ② 保護者や保護者以外の地域の方にも広報やHPを通してコミュニティ・スクールを知ってもらい理解を得る。
- ③ 地域ぐるみで児童生徒を育てるには、地域学校協働本部が不可欠である。地区センターとのかかわりを含め研究を進める必要がある。

3. 各学校の委員構成（資料 1-2）

【金子中学校区】

第1回プレ学校運営協議会＜熟議＞ まとめ

日 時 : 令和4年10月7日(金) 10:00～12:00

参加者 : 学校評議員10名、校長2名(教頭2名、金子公民館長)

熟議のテーマ

「児童生徒が自ら気持ちの良いあいさつをする習慣を身につけるために学校・地域・家庭ができることは？」

熟議の形式

- ・7～8名のグループを2つ作った。口の字の机配置。
- ・ふせんなどの小道具は、今回は用いない。
- ・まず司会(今回は教頭)がひとりひとりに振って、順番に意見を言ってもらい、その流れで自然に議論に入っていくという進め方。
- ・グループ協議が終わった後、発表者(今回は教頭)がグループのまとめを発表する。

工夫点

- ・事前に熟議のテーマを委員に伝えておくことで、あらかじめ意見を考えておけるようにした。
- ・今回初めて熟議をやってもらうことになるため、ここで委員に「難しい」「こんな大変なことはやりたくない」と思わせてしまわないよう、意見を無理にまとめようとはせず、ざっくばらんに、気持ちよく意見を言ってもらうように努めた。

熟議をやってみて、良かった点

- ・学校にとってはこういう形で地域の生の声を聴けるだけでもありがたいと感じた。
- ・地域・家庭・学校の距離感が縮まって、お互いが少しでも変わるきっかけとなればよい。
- ・熟議が始まったときはみんな固かったが、時間とともにほぐれ、笑顔がたくさん見られた。

気付いた点・共有すべきコツやポイント

- ・熟議のテーマを開催通知に記載していたので、委員の方々はあらかじめテーマについて各自で意見を考えた上で当日にお越しいただけた。
- ・今回はまず前半30分で授業参観をしてから熟議に入ったが、今回のように授業参観などほかのこともしたほうが、熟議をやるための目的で集めるよりも、出席率は高まると思う。
- ・具体的な解決策がまとまるまで議論ができればよいが、意見交換で終わってしまったとしても、自分が言いたいことを言う、それを他の人に聴いてもらって、気持ちよく終わる、という体験を委員の方々にしてもらうことが大切。
- ・固い雰囲気にならず、ざっくばらんに話が言い合える雰囲気・形態づくりが大切。
- ・学校便りなどで熟議の内容を保護者に共有すると、保護者への周知や啓発ができる

のでよい。

改善点・工夫すべき点

- ・はじめに1人ずつ順番に意見を言ってもらう、というやりかたでは、場が温まるのに時間がかかり、活発なコミュニケーションが始まりにくい。ホワイトボードやふせんなどの道具を用いるなどしながら、各々が自由に意見を言い合える形式を作れるとよい。
- ・今回は7～8名のグループを2つ作ったが、4～5人程度のグループを3～4つ作った方が、一人一人の発言回数が増えて、より活発になる。
- ・記録が残るようなものがあるとよい。(ホワイトボードや模造紙にふせんを貼るなどの方法であれば、記録が残る。そうでないならば、議事録を残すなど。)



【東金子中学校区】

第1回プレ学校運営協議会＜熟議＞ まとめ

日 時 : 令和4年10月25日(火) 10:00～12:00

参加者 : 学校評議員7名、校長3名(教頭3名、民生児童委員協議会会長)

熟議のテーマ

「「あいさつ」「環境整備」「教育支援(ボランティア)」について、3校が取り組んでいることから考えられる今後にできること」

熟議の形式

- ・5～6名のグループを2つ作った。口の字の机配置。
- ・ホワイトボードやふせんなどの小道具は、今回は用いない。
- ・司会(今回は教頭)が委員に意見を求めたりする中で、自然に議論に入っていくという進め方。
- ・グループ協議が終わった後、発表者(今回は教頭)がグループのまとめを発表する。

工夫点

- ・事前に熟議のテーマを委員に伝えておくことで、あらかじめ意見を考えておけるようにした。
- ・今回は初めて熟議を行うこともあったので、「練習」という意味合いが強く、解決策を出すことをゴールとせず、活発に意見交換ができればよいという目標設定にした。

熟議をやってみて、良かった点

- ・予想していたよりも、委員の皆さまがたくさん話をされていた。
- ・未来志向な話し合いをすると、温かい気持ちになれると感じた。学校全体がこういう温かい雰囲気になれるといいと感じる。

気付いた点・共有すべきコツやポイント

- ・熟議に入る前に、テーマに関する各校の現状や課題などの情報提供があった点はよかったが、口頭だけの説明ではなく、負担のかからない範囲で簡単な資料を作成し、委員に配ったほうがよかった。

改善点・工夫すべき点

- ・今回は練習だったので必要なかったが、今後は議事録のような、記録が残るようなものがあるとよい。(ホワイトボードやふせんなどの工夫も必要か)



【金子中学校区】

第2回プレ学校運営協議会<評価> まとめ

日 時 : 令和5年1月17日(火) 10:00~12:00

参加者 : 学校評議員10名、校長2名、教頭2名

内容

前回の熟議のテーマである「あいさつ」について、学校評価等の資料を用いながら、グループに分けて評価・議論をした。

会の流れ、形式

- ・全体で流れの説明をしたあとで授業参観、小学校分科会、中学校分科会の2グループに分かれて、学校評価（特に「あいさつ」の部分）について議論をした。
- ・グループ分けは、ランダムではなく、小学校分科会には小学校関係者、中学校分科会には中学校関係者とした。

工夫点

- ・はじめに授業参観をして学校の生の様子が伝わったことが議論の手助けとなっていた。
- ・小学校分科会と中学校分科会の2グループに分けたことで、より具体的な議論・評価ができた。
- ・準備する資料も最小限に抑え、シンプルな会とした。

良かった点

- ・前回の熟議のテーマが「あいさつ」だったため、主にそこについての評価をしたことで、前回とのつながりがあった。前回に話し足りなかったことも話せて、より深い議論になったと感じる。
- ・テーマを絞って学校や地域の実情について話し合ったことで、学校と地域の改善策が生まれはじめた。
- ・時間配分についても30分程度で、適切だったと感じる（少しだけ時間が足りないとも感じるが、逆に、もっと話したい！時間が足りない！と思わせるぐらいで終わった方が、次回への意欲になるのではないかな）

気付いた点・共有すべきコツやポイント

- ・前回の「熟議」のときと同じで、あらかじめ話し合う内容を開催通知文書で告知しておく、論点を絞った議論ができる。

改善点・工夫すべき点

- ・評価の内容を踏まえて、次年度の運営方針の方向性について簡単に触れられると、次年度の第1回学校運営協議会での<学校運営方針の承認>につながると感じた。
- ・評価をするためには元となる資料が必要だが、その資料づくりが学校の負担にならないように工夫をするとよい（すでに作成してある学校評価のまとめ資料を流用するなどするとよい。このためだけに新たに資料を作ると負担になってしまう）



【東金子中学校区】

第2回プレ学校運営協議会<評価> まとめ

日 時 : 令和5年2月17日(金) 10:00~12:00

参加者 : 学校評議員6名、校長3名、教頭3名

内容

「あいさつ」「環境整備」「教育支援(ボランティア)」を中心に、各校の評価結果報告をもとに、3校が地域とともに今後取り組めることなどについて評価・議論する。

会の流れ、形式

- ・授業参観 → 全体で各校の学校評価結果について説明 → 2つのグループに分かれて議論・評価
- ・グループ分けはランダムとした。(3校の関係者を2グループに分けた)

工夫点

- ・評価する内容を、校区の課題である3点(あいさつ、環境整備、教育支援)に絞った点
- ・まず授業参観をしてもらうことで、学校の様子を直接見てもらった点
- ・準備する資料のひな形(フォーマット)を3校共通にして、準備の負担を軽くした点。
- ・はじめに司会(教頭)から「地域の立場からどんなサポートができるかという視点で話し合ってもらいたい」という助言があった点。

良かった点

- ・評価する項目を3点に絞ったことで、具体的で内容の濃い議論・評価となった。
- ・「評価」が目的の会ではあったが、学校の悪いところを指摘するという雰囲気は全くなく、これから地域とともにどうしていこうか、という未来志向な話し合いができた。
- ・ランダムにグループ分けすることで、「この学校」という意識が薄れ「この校区」という意識を強くもてるようになった。
- ・なによりも、こういう場を設けることだけでも、学校としては前進。

気付いた点・共有すべきコツやポイント

- ・熟議の時にも感じたが、委員さんには気持ちよく帰ってもらうことが大切。来てよかった、楽しかったと思わせる仕掛けがあるとよい。(最初に授業参観をいれる、議論で固い雰囲気を出さない、など)

改善点・工夫すべき点

- ・全体での学校評価の説明が(3校分あったこともあり)やや長かった。
- ・会のはじめのあいさつで、3名の校長が全員あいさつしていた。モデル校でのプレ協議会だったので、今回は必要だったと思うが、次年度以降正式に導入した場合は、協議会が年間で全3回あることを考えれば、あいさつは毎回1名の校長からで

よいのでは（たとえば会場校の校長がするなど）

※学校運営協議会の中では校長も「委員」という地域の人たちと対等な立場であり、本来は、学校運営協議会は「会長」が開催するということになる。正式な導入後は、校長よりも先に会長があいさつをしたほうがよい。

※司会進行も、正式な導入後は教頭（注：教頭は委員ではない）ではなく、主催者である会長が行うか、会長が他の委員に司会を任命して行うことが望ましい。



令和5年度 コミュニティ・スクール委員構成(案) R5.3.1現在

資料1-2

	豊岡中学校区	金子中学校区	武蔵中学校区	藤沢中学校区	西武中学校区	向原中学校区
	豊岡中 豊岡小 高倉小	金子中 金子小	武蔵中 狭山小 宮寺翔	藤沢中 藤沢北小 藤沢小	西武中 仏子小	向原中 扇小
1	小学校PTA会長	金子スポーツ協会	区長会長	区長	小学校PTA会長	小学校PTA会長
2	小学校PTA会長	金子文化協会	区長会副会長	民生児童委員	中学校PTA会長	中学校PTA会長
3	中学校PTA会長	健全育成推進会長	区長会副会長	中学校長	区長会	民生児童委員
4	区長	中学校PTA会長	民生児童委員会会長	小学校長	杏保育園長	区長
5	民生児童委員	区長会	民生児童委員副会長	小学校長	高等学校長	区長
6	高校校長	民生児童委員	民生児童委員副会長	以下調整中	民生児童委員	高等学校長
7	保育所所長・幼稚園長	公立保育園長	前東野高等学校長		健全育成会長	幼稚園長
8	スポーツ協会	小学校PTA会長	宮寺保育所長		アミーゴ館長	地元の方(元教育部長)
9	中学校外部指導者	中学校長	ゆりかご保育園長		中学校長	中学校長
10	地区センター長	小学校長	中学校PTA会長		小学校長	小学校長
11	地元企業		学校PTA会長			
12	学校ボランティア		学校PTA会長			
13	中学校長		中学校長			
14	小学校長		小学校長			
15	小学校長		小学校長			

	黒須中学校区	東金子中学校区	上藤沢中学校区	東町中学校区	野田中学校区
	黒須中 黒須小	東金子中 東金子小 新久小	上藤沢中 藤沢南小 藤沢東小	東町中 東町小	野田中 西武小
1	地区センター長	地区センター長	小学校元PTA会長	教育後援会長	中学校PTA・OB
2	学校医	区長会長	小学校元PTA会長	学校ボランティア	区長・自治会長
3	学識者	民生児童委員会会長	中学校元PTA会長	青少年健全育成会長	民生児童委員
4	民生児童員会長	中学校新PTA会長	小学校元PTA副会長	狭山経済高等学校長	学識者
5	区長会長	小学校新PTA会長	小学校元PTA副会長	自治会長	保育所所長
6	小学校PTA会長	小学校新PTA会長	中学校元PTA副会長	幼稚園長	地区センター長
7	中学校PTA会長	茶業協会	民生児童委員	地区センター長	小学校後援会長
8	健全育成会長	学校応援団(新久小)	藤沢第二保育所所長	PTA	小学校PTA
9	中学校長	東金子小元PTA会長	ふじさわ未来ネット	中学校長	中学校長
10	小学校長	幼稚園・保育園長 (東金子小)	上藤沢中教育活動 ボランティア	小学校長	小学校長
11		県立わかさ高校長	中学校長		
12		東金子写真クラブ	小学校長		
13		中学校長	小学校長		
14		小学校長	以下調整中		
15		小学校長			

部活動の現状について

1. 各学校の部活動の状況

- ① 各学校とも、入間市部活動ガイドラインの規定に則って、平日は2時間程度、休業日は4時間程度活動している。
- ② 部活動を受け持つ教師の割合は100%である。
- ③ 異年齢との交流の中で、技術指導だけでなく、責任感や連帯感、個性や特技の発見等で、豊かな人間性や社会性を目指している。

2. どんな部活動があるのか・・・資料 2-2

野球、サッカー、バスケットボール、ソフトテニス、卓球、バレーボール、
陸上、剣道、ソフトボール
吹奏楽、美術、茶道、パソコン、家庭科、科学、演劇、相撲

3. 活動時間について

- ① 朝練習の有無・・・学校により異なる。
 - (1) 週4日
 - (2) 週2日
 - (3) 大会前のみ
- ② 土日・・・どちらか1日

4. 部活動外部指導者の状況

部活動外部指導者の定義・・・部活動外部指導者は、部活動の担当教員と連携、協力しながら、部活動のコーチ等として技術面の指導を行う

- ① 平成10年7月より実施。
- ② 上記の部活動について、各学校で数名ずつ外部指導者が登録されている。登録者は市内で35名（令和5年3月時点）となっている。
- ③ 平日・休日の指導の他、大会での審判要請にも対応していただいている。
- ④ 部活動外部指導者に登録した者から学校の派遣申請を経て派遣。
- ⑤ 募集方法は、本人が教育委員会に部活動外部指導者登録の申請をする事になっている。実際には、学校から地域の方に声をかけてお誘いすることが多い。
- ⑥ 部活動外部指導者の資格
 - (1) 原則として、入間市内に在住又は在勤している者
 - (2) 20歳以上の者部活動の実技に関し、実技又は指導の経験を有し、安全な指導ができる者

- (3) 部活動の意義を理解し、当該中学校の運営方針を遵守し、校長、顧問教員との連携を図り、部活動外部指導者の職務を誠実に遂行できる者

⑦ 報償費

- (1) 部活動外部指導者謝礼 2,000 円×12 ヶ月（年間 24,000 円）
 (2) 令和4年度は、40人分予算を確保。

5. 顧問の状況

全ての顧問が、自分の専門種目を担当しているわけではない。専門種目でない場合は、上記の外部指導者制度を利用しながら、指導にあたっている。

部活動は、技術指導だけでなく、人間関係の構築や社会で役立つ礼儀や、マナーなどを身につける場でもあるため、多くの顧問が熱心に部活動に関わっている。

6. クラブチーム等で活動している生徒の割合

豊岡中⇒14.2%	金子中⇒32.4%	武蔵中⇒18.2%
藤沢中⇒11.8%	西武中⇒39.1%	向原中⇒10.4%
黒須中⇒17.8%	東金子中⇒5.3%	上藤沢中⇒8.5%
東町中⇒25.5%	野田中⇒13.7%	

7. 部活動に加入している割合

- (1) 運動部…64.5%
 (2) 文化部…22.3%

8. 学校に入りたい部活動がないため、入りたい部活がある学校に移っている生徒の人数⇒【34名】

	豊岡中	金子中	武蔵中	藤沢中	西武中	向原中	黒須中	東金子中	上藤沢中	東町中	野田中
野球 (9)	○	○	○	○		○	○		○	○	○
サッカー (8)	○		○	○		○	○	○	○		○
男バスケ (8)	○			○	○	○	○	○	○		○
女バスケ (11)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
男テニス (10)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
女テニス (11)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
男卓球 (9)	○	○		○		○	○		○		○
女卓球 (5)			○			○	○			○	
女バレー (8)	○		○	○	○	○	○		○		○
陸上 (5)	○			○		○		○	○		
剣道 (5)			○			○	○	○			○
リトボール (4)				○		○		○		○	
吹奏楽 (10)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
美術 (10)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茶道 (5)	○				○		○		○		○
その他				【パソコン】 ○		【科学】 ○	【相撲】 ○	【総合文化】 ○			
				【家庭】 ○		【演劇】 ○					
特支	【ｽﾎｰﾂ工芸】 ○	【ｽﾎｰﾂ工芸】 ○		【あすか】 ○				【青空園芸】 ○			